

# ワーカーズ

http://www.workers-net.net

毎月1日・15日 発行1部150円 半年2000円(郵送)  
郵便振替 00180-4-169433 (ワーカーズ社)

2015/11/15 No. 548

## 今号の内容

- ・エイジの沖縄通信 NO. 19 辺野古に警視庁機動隊を投入 ②③
- ・安倍政権は「やほり」許せない ③
- ・「思いやり予算」とともに 米軍基地負担金の全廃を！ ④⑤
- ・コラムの窓
- ・最近の統計から
- ⑥ ⑤ もんじゅをはいろに！2015
- ⑥ ⑤ 色鉛筆
- ⑦ 沖縄に行ってきました
- ⑦ イラク戦争「情報間違っていた」
- ⑧ プレア元英首相
- ⑧ 何でも紹介
- ⑨ 『戦場ぬしみ(いくさばぬとどうみ)への湖・高江からの祈り』
- ⑩ ⑨ 共通番号通知が届いたら？

## 《安倍政権》

# 「二匹目のドジョウはいない！」

## 通用しない二つの顔の使い分け



SEALDs (シールズ)の「安保法制に反対する渋谷街宣」 渋谷駅ハチ公前(10月18日)

戦争法案を強引に成立させた安倍首相。安倍改造内閣は経済を前面に押し出し、アベノミクス「第二ステージ」だというキャッチフレーズは、「一億総活躍社会」だという。そのための「新三本の矢」として、GDP600兆円、希望出生率1.8、介護離職ゼロという目標を掲げている。

が、こんなものは有権者を騙すニンジンに過ぎない。そもそも第一ステージでの「三本の矢」はどうなったか。異次元の金融緩和こそ、円安を誘導することで株価や企業利益を押し上げた。ただしそれは市場に巨額のマネーをばらまくという、波乱のタネをまき散らすものでもある。

それ以外は、財政のバラマキにしても成長戦略にしても、円安や法人減税などで実を得たのは大企業だけだった。勤労者とはいえば、実質賃金は上がらず、不安定低処遇の非正規社員は四割台に増え、一段と疲弊させられている。それらに頼り切りのままの第二ステージ、打ち上げたキャッチフレーズの中身はどこにもない。

その安倍政権。新内閣の旗印で再び経済を前面に出したわけだ。内閣支持率を下支えしているのは、「他の内閣より良さそうだから」という、いわば消極的支持者。その支持層を当て込んだ毛針まがいの「経済優先」政治だが、狙いは来年7月の参院選で勝つことだ。そこで参院三分の二の勢力を確保して憲法改定の国民投票を發議する、それが安倍首相の狙いなのだ。現に、国会の閉会中審査では日本版「戒厳令」の必要性にあらためて言及している。

一匹目のドジョウには民主党の自壊で食いつくしかなかった有権者だが、二匹目にも食いつくと皮算用をはしくしかなかったのだろうか。

安倍内閣に支持率は下げ止まったといわれるが、増えたのは消極的支持で、逆に積極的非支持層が増えている。戦争法、辺野古基地、脱原発では、各地で反対行動も継続的に取り組まれている。経済と軍事を都合良く使い分ける安倍首相だが、その二匹目のドジョウへの思惑は、さらに安倍政権を追い詰めることで打ち砕く以外にない。

(廣)

2年前の第二次政権発足時には、「アベノミクス」を打ち上げて長期にわたる停滞からの脱却に期待した有権者の漠とした支持を得てスタートした。が、実際にやったのは集団的自衛権の行使容認であり、それを法制化したあの戦争法の強引な採択だった。

### ①辺野古に警視庁機動隊を投入! ②世界の恥／「虹の戦士号」入港を拒否!

#### ①辺野古に警視庁機動隊!

4日朝、現地辺野古に警視庁機動隊がはじめて投入された。



沖縄県警以外の機動隊が投入されたのは初めてである。朝6時のゲート前座り込み抗議者たちも、前日から東京の警視庁機動隊が投入されると言うことでもかなり緊張した雰囲気だ。空が少し明るくなつた6時20分頃、警視庁機動隊100名が大型車両(品川や練馬ナンバーなど)5台で到着。さつそく車両から降りた機動隊は沖縄県警機動隊と合わ

て約200人。工事車両を通すためのゲート前でのごぼう抜き(強制排除)が始まった。ごぼう抜きされた市民は、歩道上を鉄柵などで囲った場所に一時拘束された。こうした違法な拘束が常態化しているのが、辺野古ゲート前だ。それでもめげずに座り込み抗議者みなどで、再度のゲート前座り込み行動、また強制排除が始まると後ろに下がり、車道中央で抗議行動を展開、また機動隊の隙を見てゲート前で座り込みと、まさに3時間のゲリラ戦を展開!

して公務執行妨害の逮捕と説明しているがまったくのウソ! 地元新聞も「本紙や市民の撮影した動画では、逮捕された男性が市民と機動隊の間に立ち機動隊に背を向けた際、後ろから機動隊員の手が男性の腰に伸びた後、男性が歩道の縁石からバランスを崩してつんのめる様子が映っている」「男性と接見した三宅弁護士も、映像を見て、原因を誰がつくったのかはとも大事故だ。警察は意図的に挑発し、混乱をつくり出そうとしている」(琉球新報/1月5日付)



ゲート前で座り込みを続ける抗議する人々

まさに、ゲート前テント村の中心人物を狙った不当逮捕と言える。こうした警視庁機動隊の派遣に対して「沖縄県警の人員不足なら、沖縄に近い九州からの応援が普通だ」と疑問の声が多い。

政府が全面的に先頭に立ち、沖縄の反対運動を潰そうとする意図だ。

#### ②まさに世界の恥・・・ グリーンピース 「虹の戦士号」の 入港を拒否!

1月1日、グリーンピースの「虹の戦士号」が辺野古支援のため古支援助のために那覇新港に入港した。虹の戦士号は5日夜に那覇新港を出港し、6日朝に辺野古沖に到着し、沖合での抗議行動と併せ、辺野古カヌー隊などとの交流を予定していた。

#### 最後に、グリーンピースの抗議内容を以下に紹介する。(富田英司)

「こんにちは、グリーンピース・ジャパン、海洋生態系担当の小松原です。みなさんにさえ知られて、虹の戦士号は1月1日に沖縄・那覇港に入港しました。しかし昨日4日、内閣府は虹

### 安倍改憲は「やはり」許せない

またまたとんでもない行動だ。安倍首相は10月18日、米海軍横須賀基地(神奈川県横須賀市)に配備された原子力空母ロナルド・レーガンに乗艦した。政府関係者によると、現職首相が米空母に乗艦するのは初めて。安全保障関連法の成立を踏まえた日米同盟の強化をアピールするのが狙いだとか。

首相は神奈川県沖の相模湾で行われた海上自衛隊の観艦式に出席後、海自ヘリで移動した。R・レーガン配備に際し、観艦式の訓示で「東日本大震災の時、被災地に駆けつけてくれた『トモダチ』だ。心から歓迎する」と述べた。(「ロイター」より)

安倍首相の暴走はとどまるどころを知らないようだ。いまでも自衛隊の戦車に搭乗したり戦闘機に乗ったり・・・今度は米海軍の原子力空母に閣僚も引き連れて乗艦したというのだ。



原子力空母「ロナルド・レーガン」に乗艦した安倍首相ら

経済不況は徐々に拡大してきており、労働者の実質賃金も三年間ほぼ下がってしまっただ。財政赤字は断トツ世界一であり、「財政再建」など忘れて

そんななかで日本の軍事拡大、日米同盟強化や中東派遣準備だけは着々と進められている。

あらためて「安倍政治を許さない」決意を新たにしよう。というものだ。(文)

し、グリーンランドの水河を溶かし、わたしたちの小さな惑星は危機に瀕している。それなのに、人間は武装という手段で互いを脅かしあっている。飢餓や教育不足に苦しむ人々がいるのに、なぜ戦争に投資するのだろう。平和こそ最大の防衛だ。武力は不変の平和をもたらしたりはしない。恐怖心から、人間は母なる地球を支配しようとしている。

合事務所はグリーンピース「虹の戦士号」の名護漁港沖への停泊申請を許可した。「虹の戦士号」は、10日午前10時に台湾に向けて出港予定だった。「虹の戦士号」は急遽予定を変更して、10日午前9時ごろ名護漁港の名護漁港沖に寄港した。グリーンピースは「台湾に向けた出港前夜に許可を出すのは、あまりにも姑息な手段だ」と強く批判。この日本政府のさらなる非常識な仕打ちは、まさに恥の上塗りである。

#### 《追伸》

9日夕方突然、国の沖縄総



名護漁港沖に寄港したグリーンピースの『虹の戦士号』

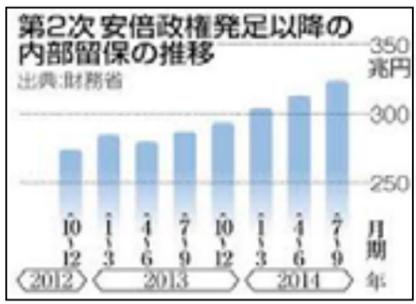
# 「思いやり予算」をやむを得ず米軍基地負担金の全廃を！

財務省は10月26日、財政

制度等審議会（財務相の諮問機関）の分科会で、在日米軍駐留経費の日本側負担となる「思いやり予算」の減額を提案したという。

安全保障法制の成立で日本の役割拡大が見込まれる中、基地内の娯楽施設従業員に関する人件費負担の廃止などを通じて歳出改革につなげたい考え。・・・思いやり予算の根拠となる特別協定は、来年3月に改定期限を迎える。日米両政府は今夏から見直し交渉を開始したが、これまでの交渉では、日本側が減額を要求する一方、米側はアジア太平洋地域に戦力を集中させているとして増額を求めており、「着地点はまだ見えない」（政府関係者）以上ロイターより」という。

そもそも遅きに失したものです。しかも、そのないようがあまりにも「手ぬるい」ものな



今年3月までの1年間で、企業が得た利益を社内にとめた「内部留保」が、前の年に比べて26兆円増え、過去最高の354兆円に膨らんだと、財務省が調査結果を発表。

一方、厚生労働省が11月4日発表した2014年の「就業形態の多様化に関する総合実態調査」で、パートや派遣などの非正規社員が労働者に占める割合が初めて4割に達し、人件費を抑えたい企業が正社員を減らし、非正規社員で労働力を補っている実態が浮き彫りに。

総務省の調査によると、非正規の男性の78%は就労収入が年間300万円に届かず、実態は望まない非正規の拡大！300万人以



## 窓のコラム

企業が利益を上げるには、等価交換が行われていることになっていない商品市場からではなく、商品価値の一部分である、労働者への賃金を減らし、そうすることによって利益を得ている実態を理解すれば、低賃金

の維持や作戦に関する経費を負担するのが原則だ。

ところが、1978年に当時の金丸信防衛庁長官が「思いやり」というものがあってもいい」と言い、基地従業員の労務費の一部62億円を負担した。思いやり予算の始まりだ。

「思いやり予算」以外にも、日本が拠出している在日米軍関連経費は存在するのです。防衛省公式サイト「在日米軍関係経費（平成26年度予算）」によれば、平成26年度の在日米軍関連経費の内訳は、いわゆる「思いやり予算」は1848億円であるが、それとは別に、基地周辺対策費・施設の借料など1808億円

米国防総省の2004年の統計では、02年時点でドイツ32.6%、韓国40%に対し、日本は74.5%だ。金額で見ると、ドイツ、韓国などは米軍1人あたりの支援額が約2万ドルなのに対し、日本は約10万ドルだ。

特に光熱水料まで出す国は、日本以外にはほとんどないと

言われる。」（毎日）

はたして「ドイツ・韓国並み」なら「合理的負担」なのでしょう。しかも、「毎日」の指摘している「駐留経費の日本側負担は今年度3725億円」というのもほんとうの実態を過小評価したもののようです。

別な資料を見てみましょう。\* \* \* \* \* 「思いやり予算」以外にも、日本が拠出している在日米軍関連経費は存在するのです。防衛省公式サイト「在日米軍関係経費（平成26年度予算）」によれば、平成26年度の在日米軍関連経費の内訳は、いわゆる「思いやり予算」は1848億円であるが、それとは別に、基地周辺対策費・施設の借料など1808億円

「思いやり予算」のような当事者国の財政主出は、現在の世界では在日米軍のみであり過去の遺物なのです。さかのぼれば1932年締結の日満議定書に思いやり予算と似た趣旨の項目があるとか、あるいは連合国軍（アメリカ軍やソビエト連邦軍）が第二次世界大戦後も駐留していた、旧西ドイツと東ドイツ、イタリアにおいても、

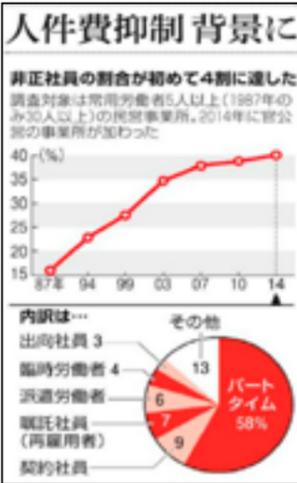
これら総額を計算してみましよう。それはなんと「6670億円」に達します。これに例の「思いやり予算」1848億円（26年度）を加えた真の総額（26年度）は8518億円となります。

## 最近の統計資料から 企業＝資本は利潤を増大し、労働者は貧困化へ！

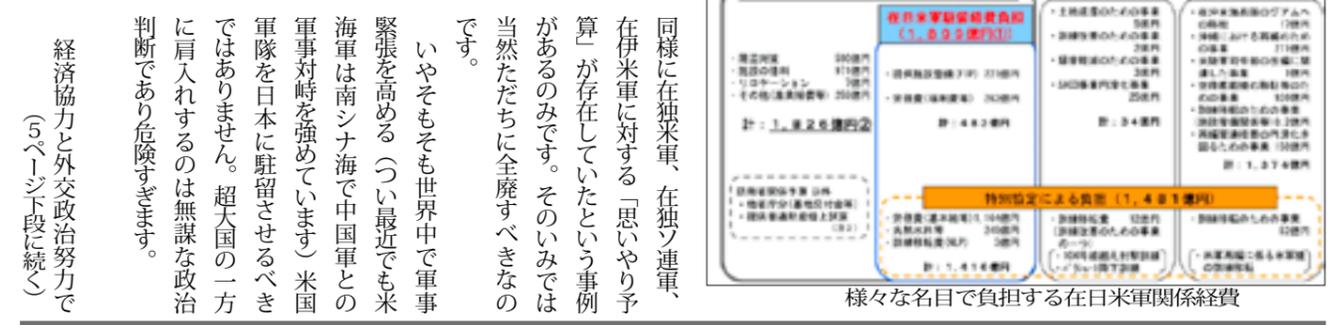
化・増加する非正規社員や社員間の競走と差別、無くなり残業や長時間労働等々・の原

因や解決策も見えてくるのだが！。実際にはそんな簡単なことではない。労働者の団結・労働組合への組織実態でみれば、厚生労働省の「平成26年労働組合基礎調査の結果」

（2014年6月30日現在）によれば、労働組合員数は984万9千人、推定組織率は17.5%と、前年比較



非正規社員の割合が4割に！



様々な名目で負担する在日米軍関係経費

（4ページ下段から続く）平和は構築されるものです。平和のためにやれる政治努力はまだまだあるのです。軍事力による平和の実現など幻想なのです。そのことを証明したのが米国の中東軍事介入です。米

が主導した湾岸戦争やイラク戦争は、その後十年・二十年たつてどのような結果をもたらしたのでしょうか？それは現在の中東の大混乱と内戦、殺戮、そして大規模な難民流失をもたらしたではありませんか。他国の人々を軍事力で屈伏させることなどできないのです。民族自決・他国不干渉の原則に戻るべきです。

ですから「日本を守る米軍基地」「米軍基地は地域の平和と安定を守る・・・」とは幻想も甚だしいのです。米国の「リバランス戦略」や軍事基地の世界展開は、米国の政治家と軍需産業による野望にしかすぎません。彼らに打撃をあたえるためにも、「思いやり予算」は言うまでもなく、すべての米軍基地負担金を廃止すべきなのです。日本国民が経済負担し米軍基地を存続させるべき根拠はありません。





